

2017年6月15日

報道関係者各位

計2枚

## 国際基督教大学は 「シリア人学生イニシアチブ」奨学金制度を開始します

### 奨学金制度の概要

[国際基督教大学 \(ICU、東京都三鷹市\)](#) と [日本国際基督教大学財団 \(Japan ICU Foundation: JICUF\)](#) は、シリア難民が本学で学ぶための奨学金制度「シリア人学生イニシアチブ (Syrian Scholars Initiative: SSI)」を設立しました。[認定 NPO 法人難民支援協会 \(Japan Association for Refugees: JAR\)](#) と連携し、2018年9月から2021年9月までの4年にわたり、トルコに逃れたシリア難民を毎年1~2名、計6名、本学の学部生(9月入学の4年本科生)として受け入れます。本奨学金採用者には、奨学金として、検定料、入学金、学部4年間の学費および寮費が免除される他、生活費の一部、トルコから日本への渡航費等が給付されます。

今年5月、ICU、JICUF、JARの三者は協働し、トルコにおける本奨学金制度の広報を開始しました。6月20日(世界難民の日)にはJICUFが奨学金候補者の応募受付を開始、2018年2月にはICUが、2018年9月入学志願者として選考を行い、奨学金採用者を正式決定します。

### シリア人学生の現状

世界的な難民危機により、多くの若者が高等教育の機会を奪われ「ロスト・ジェネレーション」(失われた世代)となる恐れに直面しています。大学教育を受けられるのは18歳から22歳の難民のわずか1%と推定され、未だ多くのシリア難民は母国に戻る見通しが立たず、高等教育の機会を奪われた若者が多くいます。シリアでは、約15万人が大学進学の見込みを断たれているという統計もあります。

この緊急事態に対して、国連は、これまでの難民制度による受入に限らず、様々な形での受入を通じて、難民を保護するよう呼びかけています。これに呼応し、世界各国の大学が難民学生の受け入れ努力を続けていることから、本学としても教育研究機会の提供に最大限の努力を払うと決めました。

### 本奨学金制度の設立の背景

ICU がこの奨学金を設立した背景には、国際協力により献学された歴史と、世界人権宣言に則り、恒久平和の確立に資する人材育成を目的とする使命があります。

第二次世界大戦終戦間もない 1953 年、ICU は、日米両国の多数の個人による善意のご寄付をもって献学されました。献学時に米国で資金を集め、以来 ICU を支援し続けてきた JICUF がこの度、本奨学金制度構想を ICU に提案、難民支援の最前線で活動する JAR に協力を依頼し、構想が実現しました。JAR は昨年、日本語学校と協働して民間主導による難民受け入れ「プライベート・スポンサーシップ・プログラム」を始動、今年 4 月にシリア人学生 5 名が来日し、日本語学校で日本語を学び始めています。

以上

---

問い合わせ先:

国際基督教大学 (ICU) パブリックリレーションズ・オフィス

担当 橋本・佐藤      Tel: 0422-33-3040 E-mail: pro@icu.ac.jp Fax: 0422-33-3355

日本国際基督教大学財団 (JICUF)

担当 高田      Tel: +1-212-870-3386 E-mail: atakada@jicuf.org Fax: +1-212-870-2696